

事務事業名 太宰府特別支援学校放課後等支援事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1660

施策：	11	障がい者福祉の充実	財務コード	--
基本事業：	01	自立生活の支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	日常生活の自立に向けた障がい者支援サービスの延べ利用者数 施設入所・入院から在宅生活へ移行した障がい者数（計画期間内累計） 児童発達支援及び放課後等デイサービスの利用者数		担当課	生活福祉課
			担当係	障がい者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ～		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内に居住し、太宰府特別支援学校の小学部に在学する児童及び中学部又は高等部に在学する生徒。			太宰府特別支援学校に通学する児童生徒に放課後等活動の場を提供することを目的として筑紫地区4市（特別支援学校校区）で放課後等支援事業を実施する。事業所に事業を委託し実施する。						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
福岡県立太宰府特別支援学校に通学する児童及び生徒に放課後等の活動場所を提供するとともに、障がい児を日常的に介護する保護者等の一時的な休息を確保すること。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
太宰府特別支援学校放課後等支援事業の利用者数		人	375	253	200				
5．コスト									
事業費	計	千円	4,658	4,139	3,099				
	国	千円	1,266	1,321	791				
	県	千円	633	660	395				
	地方債	千円	0	0	0				
	その他	千円	120	72	120				
	一般	千円	2,639	2,086	1,793				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1	0.1			
正職員人件費		千円	773	782	802				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	5,431	4,921	3,901				
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
○あがっている ○どちらかといえばあがっている ●あがっていない（停滞・低下）		放課後等支援事業の延べ利用者数は横ばい傾向にあり、保護者からのニーズに対応できているものと考えられる。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり	放課後に児童の療育を行う放課後等デイサービス事業所が増えていることから、筑紫地区4市で事業継続の必要性についての検討を行い、令和6年度末で事業終了の方向で動いている。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性が低い	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始当時と比較し、類似事業を行う民間事業所が増えたことから、共同設置している筑紫地区3市と検討した結果令和6年度末で事業を終了する方向で進んでいる。									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
太宰府特別支援学校が平成24年度開校したが、保護者から放課後の支援を要望する意見が出された。									